

西三河版



ビーズ細工をする娘
杉浦 久也
光彩会所属

ニュース、情報は下記へ
社会部
052-231-1650・5919
Eメール

shakai@chunichi.co.jp

- 岡崎支局 〒444-0863
- 岡崎市東明大寺町16-18
0564-22-1661 Fax25-1554
- 豊田支局 〒471-0849
- 豊田市美山町3-34-34
0565-24-1010 Fax25-1118
- 安城通信局
0566-76-3355 Fax76-0900
- 西尾通信局
0563-56-3135 Fax56-3136
- 刈谷通信局
0566-21-0077 Fax26-0285
- 碧南通信局
0566-41-0468 Fax43-1047
- 豊橋総局
0532-52-7181 Fax54-4655

中日新聞へのご意見は
読者センターへ
052-221-0800 Fax221-0819
Eメール
center@chunichi.co.jp

広告のお申し込みは
広告局三河アドセンターへ
岡崎 0564-23-3051(代)

障害者希望のカフェ

接客やコーヒーの入れ
方などの研修を受ける
安城養護学校の卒業生
ら(左側)と安城市桜
井町の「ポンテ・カフ
エ・匠」で

安城養護学校(安城市桜井町)の卒業生たちが働く喫茶店「ポンテ・カフェ・匠」が十一日、地元でオープンする。障害者の就職難を打破しようと、生徒の保護者有志が実現に奔走した。ポンテはイタリア語で「架け橋」の意。関係者たちは「障害者と地域社会をつなぎ、可能性を伸ばせる場になりたい」と意気込んでいる。(紙山直泰)

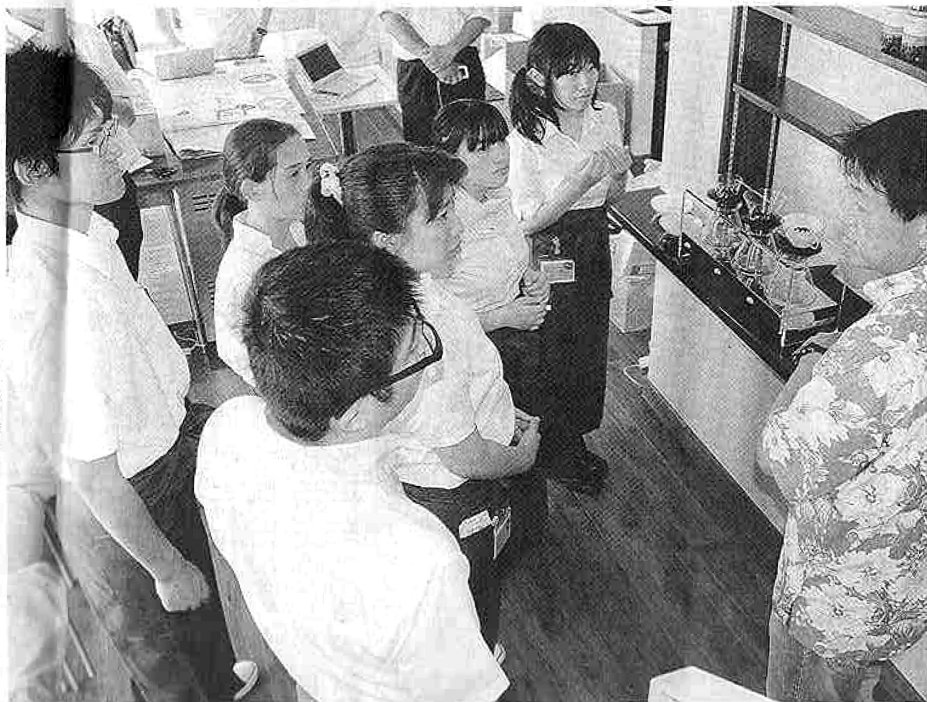
働く場を得たのは、十代後半～四十代の卒業生六人だ。健常者六人と一緒に、フロア一、二階で延べ百平方メートル(二十八席)の店で主に接客を担当する。

メニューはコーヒーとパスタ、リゾットなどの軽食が中心。桜花学園大学(豊明市)の学生有志が考案したサラダ、スープも提供する。

実質的な運営は、障害者が働く喫茶店の全国展開を目指す企業「アイエスエフネットハーモニー」(東京)が担う。昨年三月に福島市で一号店を開店させ

きょうオープン

「ポンテ・カフェ・匠」地域つなぐ架け橋



ており、先進地のノウハウが生
間が提供できるような接客をし
かされる。たい。学校の後輩の就職にもつ

卒業生たちは六月下旬から店
ながるように頑張りたい」と話
内て研修を重ねており、コーヒ
す。

の入れ方も学んだ。今春、安
城養護学校を卒業したばかりの
びの市道沿い。営業は午前十一
奥野恭輔さん(心)と西尾市熊味
時午後十時。働同店電話05
町は「お客さまに癒やしの空
66(99)6712